

(別記様式)

令和8年度 府立舞鶴支援学校行永分校 学校経営計画（スクールのマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>教育目標「よく学びより鍛えそしてよりよく挑め」を達成するため、特別支援教育を通して、学習指導要領や学校教育の重点に基づき、指導及び実践に努める。</p> <p>1 特別支援教育の推進</p> <p>(1) 個別の教育支援計画の活用を図り、一人一人のニーズに応じた指導・支援を推進する。</p> <p>(2) 医療・関係機関との連携を図るとともに専門性の向上に努める。</p> <p>(3) 言語活動、コミュニケーション能力の育成及びキャリア教育の充実により、自立と社会参加を目指す。</p> <p>2 学力の充実</p> <p>個別の指導計画に基づき、具体的な指導目標や指導内容を明確化し、基礎・基本を重視する授業の創意工夫に努める。</p> <p>3 心身の育成</p> <p>(1) 心身の状態を的確に把握し、家庭や医療と密接に連携を図り、計画的・効果的な自立活動や教科指導の充実に努める。</p> <p>(2) 基本的な生活習慣を確立させるとともに、命を大切にする心、相手を思いやる心等、豊かな人間性を育む心の教育を推進する。</p>	<p>① 「医療との連携・協働」</p> <p>隣接する医療機関と日常的に連携・協働することで、安心・安全な学習環境を確保することができた。医療機関の医師や看護師等から研修を受ける機会なども設けたことで専門性の向上につながった。</p> <p>今後、医療的ケアについての研修も進めていく必要がある。</p> <p>② 「交流及び共同学習の一層の推進」</p> <p>地域の小学校との交流では、綿密な打ち合わせをすることで、自然な関わりがもてる活動ができた。交流回数は例年よりも増えた。また、地域の人的資源との関わりを上げるために、様々な事業所へ積極的に訪問し、交流することができた。</p> <p>③ 「キャリア教育の推進と広報活動の充実」</p> <p>日々の教育活動をホームページに掲載し、インスタグラムを開設することで、更なる情報発信にも努めた。保護者や地域、報道機関等と連携を図ることで、教育活動の理解促進を図った。</p> <p>④ 「ICT機器の活用」</p> <p>タブレット端末のコミュニケーションアプリを活用することで、積極的なコミュニケーションを図れた。医療センターに入院している児童の社会見学として、前籍校の社会見学にタブレット端末を持参し、病室とのオンライン中継をすることで社会見学に参加することができた。</p> <p>⑤ 「個別最適な学び」</p> <p>様々な実態の転入生に合わせて、適切な教育課程を編成することができた。また、体調に合わせて、臨機応変に「訪問」による指導を行い、個別最適な学びを深めることができた。</p>	<p>① 医療機関との緊密な連携・協働のもと児童生徒の安心で安全な学習環境の確保に一層努める。</p> <p>医療機関と連携して、医療的ケアについての研修を進める。</p> <p>② 地域の小学校・中学校との交流及び共同学習だけでなく、児童生徒の実態に応じ、居住地校交流、外部人材及び地域資源の発掘・活用により、児童生徒の社会参加を促す。</p> <p>③ 児童生徒の様々な学習場面をSNS等により、積極的に情報発信していく。教育活動の理解促進を図るとともに地域との連携を密にして、「地域とともにある学校」を目指す。</p> <p>キャリアパスポートの活用により、児童生徒の意欲を高める。</p> <p>④ ICT機器やデジタルアプリなどのソフトウェアの効果的な活用を進めるために、教職員研修を一層進め、児童生徒にとって個別最適な学びとなるように創意工夫を図る。</p> <p>高専との連携により、児童生徒のコミュニケーションや移動手段について研究する。</p> <p>5 次期学習指導要領を見据え、児童生徒の実態に応じた適切な教育課程を編成して、一人一人を伸ばす授業づくりや授業改善に努める。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	1 児童生徒の社会的自立を促し、児童生徒、保護者、地域から信頼され、地域とつながる学校運営の推進	(1) 地域などの小学校・中学校と自然なかたちでの交流及び共同学習に加えて、児童生徒の実態に応じた居住地校交流や、外部人材及び地域資源の発掘及び活用をして教育活動を充実させる。		
		(2) 分掌間及び教職員間の連携を図りつつ、Teams等の活用により、各種会議を精選させ児童生徒の一層の実態把握に努めるとともに学習環境の整備を図る。		
		(3) 児童生徒にとっての個別最適で協働的な学びの一層の深化につながるような職場環境の整備に努める。		
	2 舞鶴こども療育センター、舞鶴医療センター、保護者、前籍校、関係機関等との連携	(1) 医療機関との緊密な連携・協働のもと、研修を進め、医療的ケアの必要な児童生徒を含めた児童生徒の安心・安全な学習環境の確保に努める。		
(2) 参観日や懇談会、学校行事、進路指導部とPTAの共催による施設見学などを活用して保護者間の親交を深める。				
事務部	1 児童生徒の深い学びの実現に向けた支援	(1) 学校施設の維持管理及び学校環境の整備を行い、安心・安全な環境づくりに努める。		
		(2) 教材教具の新規購入や更新を行い、学習環境の維持向上に努める。		
小学部 中学部	1 健康なからだづくりと生命維持力の育成	(1) 関係分掌との連携をさらに深め、支援方法を工夫したり、支援機器等を活用したりして安全と健康に留意し、教育活動を進める。		
		(2) 医療機関及び関係機関との連携を密にし、心身の状態に応じた教育活動を充実させる。		
	2 主体的に学ぶ力の育成と個別最適な学びによる基礎学力の向上	(1) 特色を生かした教育課程を編成し、教科の視点を踏まえ、個に応じた取組や指導を行う。		
		(2) キャリア教育の視点からの実践により、キャリアパスポートを活用し、将来を展望する力を育成する。(小学部)		
		(3) キャリア教育の視点に基づいて、希望進路実現に向けてキャリアパスポートを活用しながら、指導を進める。(中学部)		

		(4) ICT機器等の活用を進め、児童生徒の主体性を引き出し、個別最適な学びと協働的な学びにつながる授業づくりを進める。			
	3 他者への思いやりや自らの考えを伝える力の育成	(1) 全ての教育活動を通して道徳性を養い、自他共に思いやる力を育成する。			
		(2) 交流校や居住地校、部門や学部を越えた交流及び共同学習や様々な活動を通して、学校内外の人とのコミュニケーション能力を育成する。			
		(3) 校外学習等での公共施設の利用等により、児童生徒の豊かな体験活動を通してより良い社会性を養う。			
教務部	1 学習指導要領に基づいた、児童生徒の教育的ニーズに応じた教育課程の編成・実施	(1) 指導目標や指導内容の明確化を促し、適切な個別の指導計画の作成・実施を図る。			
		(2) 個別に作成している様々な書類について関連性を整理し、児童生徒一人一人の実態や個々の教育的ニーズを明確にした指導の構築を図る。			
		(3) 上記内容達成に向けて、次期学習指導要領を意識しながら計画的に研修を計画したり、情報提供したりする。			
	2 学習環境の整備・充実と校務の円滑化	(1) 教室や教材等の整理整頓を行う。			
		(2) 部内の業務内容を整理し、校務の円滑化を図る。			
		(3) 校務システム等、業務の効率化に向けた取組を進める。			
生徒指導部	1 基本的な生活習慣の形成・確立	(1) 各学級の取組を基盤にして、友達や役割を意識した集団活動を進める。			
		(2) 社会的なルールを守り、安全に留意し、よりよい生活を目指す力を育む。			
	2 児童生徒の個性の発見とよさや可能性の伸長、仲間づくり及び人権意識の高揚	(1) 両部門のねらいを踏まえつつ、児童生徒の交流を深め、互いを尊重する心を育む。			

		(2) いじめ、問題行動等の未然防止及び、早期発見に努め、児童生徒の特性等に応じた指導を行い、速やかな対応・解決に努める。			
進路指導部	1 保護者、関係機関等との連携と、組織的・計画的・継続的な進路指導の推進	(1) 卒業後の進路と、生活や制度についての研修をすすめる。			
		(2) 進路に関する情報の収集と、発信・提供を行う。			
		(3) 保護者・関係機関等との連携を図り、児童生徒の状況と課題を共通理解して日々の支援・指導を行う。			
	2 進路を主体的に切り開く能力や態度の育成に向けた取組の推進	(1) 個々に応じた進路実現に向けた取組をすすめる。			
(2) 「進路指導計画作成のための課題表」や「進路指導計画」、「キャリア・パスポート」を活用し、小学部から中学部を見通した指導を行う。					
保健部	1 健康なところと身体をつくる取組の推進	(1) 医療との連携を密にし、健康状況や病状を的確に把握する。			
		(2) 基本的な生活習慣を身につける保健指導を進める。			
		(3) 児童生徒が健康に関する基礎的な知識を身につけ、病気を回復・改善できる力を育てる			
	2 元気で安全な楽しい学校生活の推進	(1) 安全な学校生活を送ることができる環境をつくる。			
(2) 健康安全、医療的ケア等の研修を行い、教職員の意識高揚を図る。					

研究部	1 児童生徒の実態や課題に応じた授業を実施するための研究の推進 研究テーマ：「発達段階や特性に応じた国語科指導の工夫と改善－病弱・重度重複障害の児童生徒を対象として－」	(1) 病弱・重度重複障害の児童生徒の発達段階と学習特性を踏まえて国語科の学習実態を分析し、指導目標・内容の体系化と授業づくりの改善を図る。（研究）			
		(2) 発達段階や特性に応じた教材・教具を工夫し、学びを支える活用方法を共有する。（研究）			
	2 教職員の専門性向上のための研修の推進	(1) 研究テーマに即した研修会や、授業改善と専門性の向上のための研修会を計画的に実施する。（研修）			
		(2) 研究部たよりの定期発行や外部研修案内、専門誌や動画紹介などを通して、教員が研鑽・修養に励むことのできるよう情報提供を行う。（研修）			
情報広報部	1 ICTの効果的な活用推進	(1) ICT機器および校内LANの保守管理を行い、効率的な利用環境を保つ。			
		(2) ICT機器およびソフトウェア活用に関する研修及び交流の実施やサポートを行う。			
		(3) セキュリティ対策の啓発を行い、個人情報の保護に努める。			
	2 情報発信の推進	(1) ホームページやSNSの保守管理を行い、円滑に閲覧できるようにする。			
(2) 学校生活の様子が伝わる内容をタイムリーに発信する。					

学校関係者 評価委員会 による評価	
次年度に向けた改善の 方向性	